

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
教志	教志入門	2	4	コース生必修

到達目標	教育に対する志を高めるとともに、進学後の学習活動に対するモチベーションや、進学に向けての学力向上に対するモチベーションを高める。
------	--

### 年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1年間を通して	<p>【講義】</p> <p>「教育全般を通して」 学校教育とは、その特性や教師像など</p> <p>「教科指導を通して」 教師に必要な知識、教材研究など</p> <p>「学校生活を通して」 担任・生徒の関係、部活・行事の取り組みや担任業務、生徒指導や法制度</p> <p>「保護者や地域との関係を通して」 保護者、地域に対しての視点など</p> <p>「学校運営の観点から」 教科や分掌間のつながりなど</p> <p>【実地実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・実地実習</li> <li>・実習の振り返り</li> </ul> <p>実習を行うに当たってのマナーなど</p> <p>幼保小中支援の教育活動に触れる</p> <p>実習をとおして学んだ事、現場で気付いたことを振り返り、まとめと発表を行う。</p>	<p>左記の実施内容については、期間ごとに内容を決めて実施するものではありません。年間を通して、順不同に実施する予定です。</p> <p>左記の5つのテーマを中心として、それ以外の内容についても実施されることがあります。</p> <p>実地実習をうける心構えを整え、1年間の目標をしっかりと立てよう。</p> <p>児童・生徒の様子、教師の動きを観察しよう。教師の仕事を観察し、教師として必要なことは何か考えよう。</p> <p>1年間を振り返り、これからすべきことの目標を立てよう。</p>	<p>大学を中心とした外部講師による講義になります。</p> <p>本校教員によるオリエンテーション。実習ノートには目標や実習時に記録すべきことなどを記入する欄を設ける。</p>

評価方法と評価のポイント	<p>【講義】</p> <p>高校教員が出席状況、受講態度、レポートの提出状況と内容などを総合的に判断する。</p> <p>①出席状況 ②受講態度 ③レポートの提出状況 ④レポートの内容</p> <p>【実地実習】</p> <p>講義感想文・実習ノートなどの提出、発表</p>
--------------	--

<p>教科からのアドバイス</p> <p>意欲的に、学ぼうという姿勢を持ち続けること。また、実地実習を行うに当たっては、何事に対しても前向きに取り組む姿勢が必要となります。</p>
--